

第 11 回関東地方郵便局長協会杯争奪トスベースボール大会 開 催 要 項

1. 開催目的

トスベースボールを通じて「少年野球の活性化」、「底辺の拡大」と学童の健全育成と体力の増進を図ることを目的とする。高学年の選手も一緒に楽しめる大会とする。

2. 開催期日 2025年5月18日（日） （予備日）5月25日（日）

開会式 午前8時00分～瀬田少年野球場（全チーム）
試合開始 午前8時40分～
使用球場 瀬田少年野球場 諏訪第一少年野球場 諏訪第二少年野球場
閉会式 決勝トーナメント進出チームで実施
雨天時の決定 午前7時00分までにメールでお知らせする。

3. 出場資格

出場チーム

- ・高津区少年野球連盟に加入している団体に所属する小学校4年生以下の小学児童および成人女性で構成するチームとする。
- ・部員勧誘のための体験生など、チームに所属していない小学校4年生以下の選手（未就学児も可）も出場可能とするが、連盟への登録外選手を含まないと規定の人数に達しないチームは、上部大会への推薦は行わない。
- ・単独チームで出場できない場合、連合チームでの出場も認める。連合相手が見つからない場合は、連盟での調整も行う。その場合の連合チームの上部大会への推薦は行わない。

資格

- ・各チームから複数チームの参加も認める。
- ・出場するチーム・選手はスポーツ傷害保険等に参加していること。
（連盟で一日保険をまとめて申込も致します）
- ・選手以外に成人の指導者（男女を問わず）をおくことができる。予め選手登録した指導者は選手として試合に参加することができる。
※チームは、女性指導者が選手登録することができる。

4. 参加費 抽選会時に徴収（試合球は連盟負担）

1チーム 3,000円
2チーム 2チーム目も3,000円

5. 試合方法

予選 2イニング

- ・得点、勝敗に関係なく、2回裏まで行う。同点の場合は引き分けとする。
- ・各チーム2試合ずつの予選を行い、勝ち点（勝ち+3点、引き分け+1点、負け0点）の多いチームで順位を決める。勝ち点が並んだ場合は、得失点差で順位を決める。
- ・得失点差も並んで上位4チームが決まらない場合は、1イニングのプレーオフを行い（勝敗が決しない場合は、勝敗を決するまで延長を行う）、決勝トーナメント進出チームを決める。
- ・予選敗退のチームは、予選の全試合が終了した時点で解散。

決勝トーナメント 3イニング

- ・上位4チームによる決勝トーナメントを行う。準決勝、決勝、3位決定戦。
- ・最終回表の攻撃が終了した時点で、後攻チームがリードしている場合、また最終回裏の攻撃で逆転した場合はその時点で試合を終了する。
- ・規定イニングを終了した時点で勝敗が決しない場合は、勝敗を決するまで延長を行う。

6. 試合規則

最新の川崎市学童大会親子ふれあいトスベースボール大会の規定と高津区少年野球連盟の独自ルールによる。

- ・使用するバット・ボールは連盟で準備した日本トスボール協会認定品とする。
- ・塁間は 18m とする。
- ・試合に使用するバット・ボールは連盟で用意したものを使用する。
- ・同一イニングに出場できる成人選手の守備および攻撃時における出場枠総数は代走を含め各々 3 名以下とする。必ず 1 名の成人選手は出場しなければならない。
- ・登録した指導者は、チーム攻撃時のコッチャーボックスに、選手に代わり入ることができる。
- ・攻撃は 1 イニング 10 名とする。(アウト数に関係なく 10 名が打撃を行う)
- ・打撃順はゼッケン番号順とする。(1 番～10 番)
- ・同一イニングで同一打者が二度打つことはできない。
- ・2 回目のイニングからは、打撃順の変更または打者の変更は自由にできる。
- ・打者は 3 球以内にフェアボールを打たなければ、打者アウトとなる。
- ・打球がトスマシンに触れた場合はファールボールとなる。
- ・バントおよび盗塁は禁止。
- ・走者の離塁はベースより 2m 以内とし、走塁は打者がボールを打った時点とする。(2m ラインを引く)
- ・打者・走者・守備等すべてのプレーが終了した時点で審判がボールデッドの判定を行う。ボールデッドと判定された後の進塁はできない。
- ・守備は 10 名とする。
- ・守備交代は自由に行える。(成人選手の出場枠 3 名以下)
- ・極端な前進守備等を行った場合、安全を配慮し、守備位置の変更を審判が求めることができる。
- ・送球がトスマシンに当たった場合はインプレーとし、プレーは継続される。
- ・10 番打者が打撃を行い、ボールデッドとなった時点で、アウト数に関係なく、攻守交代となる。
- ・前イニングの残塁走者は次イニングに繰り越されない。
- ・10 番打者が打撃を行い、すべてのプレーが終了した時点で、その会の得点が記録される。

7. 独自ルール

- ・選手登録人数は、小学生 7 名以上、成人女性 3 名以上とし、上限を設けない。
- ・予選の順位は勝ち点により順位を決める。勝ち+3 点 引き分け+1 点 負け 0 点
勝ち点がならんだ場合は、得失点差で順位を決める。
- ・ボールをトスマシンに供給するのは審判が行う。審判からの要請があった場合は選手が行う事ができる。
- ・登録された指導者によるベースコーチを認める。
- ・本塁から 9m ラインを引き、それより前で守備につくことを禁止する。
- ・選手がキャッチャーボックス内でボールを保持した時点でボールデッドとし、以降の進塁は認めない。

※注意

- ・打球が本塁より 5m 以下で止まった場合にファールボールとするルールは廃止とする。
- ・野手の悪送球におけるボールデッドは、走者及び打者走者に打撃時点から 2 個の塁を与える。
ただし、プレー中断と判断した時点後の返球に悪送球があった場合、走者の進塁は認めない。
- ・フォースプレイ、クロスプレイともに野手がボール補給後に走者、打者走者の接触により落球した場合は、走者、打者走者は「アウト」する。その他、危険なプレーと審判が認めた場合は、即プレーを止め子供たちの安全を確保する。
- ・ボールデッド時機について
走者なしの場合：打者走者をアウトにするか、進塁を防ぐ塁付近までボールが送球され野手がボールを確保した時、または打者走者が進塁をやめたと判断した時点とする。
走者ありの場合：進塁を防ぐ塁付近(本塁を含む)までボールが送球され野手がボールを確保した時、かつすべての走者が走塁を終えたと判断した時点とする。

最終打者 : 最終打者走者をアウトにするか、走者の進塁を防ぐ塁付近(本塁を含む)までボールが送球され野手がボールを確保した時、かつすべての走者が走塁を終えたと判断した時点とする。

8. 抽選会 日時：4月26日(土) 午後18時00分～ 場所：東高津特別活動室
代表者のみの参加 (同じチームから複数チーム出場する場合、A・Bチームを含め1名の代表者の参加でも可。)
対戦の組み合わせについて、同じチーム同士での対戦を避けるように考慮いたします。

9. その他

- ・ゼッケン(1～10番の番号付きビブス)は、各チームで準備をする
- ・各チームより審判員2名、記録員1名を出して、自チームの審判、記録を行う。
- ・審判員のホイッスルは、各チームで準備をする。
- ・勝利チームの記録員は、試合終了後速やかに本部に試合結果を報告する。
- ・連盟から指示のある運営方法に従い、準備や後片付け等に協力する。

主催 関東地方郵便局長協会
 高津区少年野球連盟